

映像資料を用いた 防災ワークショップのご紹介

映像資料をひとつの手がかりに、地域のグループや福祉事業所など、みなさまのコミュニティでワークショップを開き、一緒に防災力を高めていきませんか？

一般社団法人精神障害当事者会ポルケでは、東日本大震災や熊本地震での被災経験のある精神障害・発達障害の当事者や支援者のみなさんにインタビューを実施するなど、精神・発達障害当事者を包摂する地域防災のあり方を探るべく調査研究を行ってきました。

昨年度は、熊本地震での被災経験をもつ方々等にご協力をいただき、防災ワークショップを開催するなどして防災啓発活動のモデル開発を行い、各地でのワークショップを行うための映像資料「ふだんからの防災ー精神障害のある人の経験から学びあおうー」を製作しました。精神障害のある人の視点からデザインされた防災・減災について自分事として捉える視点をグループワークで発見的に獲得することが目的となっているユニークな映像研修です。

今回は改めて熊本のみなさまと「ふだんからの防災」を学ぶワークショップの体験会と関係者のトークイベントを開催する運びとなりました。今後の防災・減災の活動に活用いただけたら嬉しく思います。どうぞお誘い合わせのうえご参加ください。

日時 2024年6月9日(日) 14:00～16:00

会場 大江公民館 大ホール 熊本市中央区大江6丁目1-85

ゲスト 原田 文子さん NPO 法人 KP5000 代表

須藤 凜さん 熊本県発達障害当事者会 Little bit 共同代表理事

進行 山田 悠平・相良 真央 (一般社団法人精神障害当事者会ポルケ)

川口 敬之 (国立精神・神経医療研究センター)

福祉事業所などでの防災訓練、個別避難計画の作成の補助ツールとしてもご活用いただけます



お申し込み : GoogleForm よりお申し込みください 

締め切り : 6月7日(金)



お問い合わせ：一般社団法人精神障害当事者会ポルケ事務局 in.porque@gmail.com
主催：一般社団法人精神障害当事者会ポルケ
共催：熊本県発達障害当事者会 Little bit

ゲスト



原田 文子さん NPO 法人 KP5000 代表

2005年から2019年の約19年間、就業・生活支援センターで障害のある方々の就労支援に取り組んでまいりました。

現在は、障害のある方々と余暇活動を楽しんだり、障害福祉サービス事業所と一緒に人材育成等の研修を開催したりしております。

「障害があってもなくても誰もが輝くまちづくり」を目指して活動しています！



須藤 凜さん 熊本県発達障害当事者会 Little bit 共同代表理事

自閉症スペクトラム障害・ADHD・双極性障害当事者。熊本地震直後、自宅をシェルターとして避難場所を運営。発達障害の仲間たちと共に暮らす生活を約1か月続けた他、炊き出しや夜回り活動、車中泊調査等の「共助活動」を他団体と協働で実施。いつもゆっくりしてるけど頭はせっかち。当事者会活動歴は13年目。社会福祉士。ポンデリングを食べると喜ぶ。愛称：ふじちゃん。

第1部 話題提供

- ・被災した当事者を支えた立場から
- ・被災時に当事者仲間と支えあった経験

第2部 防災ワークショップ映像資料のご紹介

- ・活用方法
- ・制作秘話



映像資料の特徴

- ✓当事者視点から、ショックの大きい被災映像を用いず、心理的負担を考慮したコンテンツとなっていて、安心して参加できます
- ✓被災経験のある精神障害・発達障害のある人の経験を学び合うことで、具体的な防災の準備ができます
- ✓当事者のエンパワメントを図りながら、個別避難計画づくりの参考にもできます

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

精神障害当事者会ポルケは、2016年に発足した精神障害のある人により運営される障害者団体です。「ポルケ」とは、スペイン語で「なんでだろう」「疑問」という意味です。精神障害があることで経験する苦い経験や辛さも含めて、ひとりで抱え込まずに言葉にしていこう！そのような思いから活動しています。



ホームページ